

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は将来、食品開発をしたいので、大学では食について学びたいと思っていました。その中でも、食品メーカーへの就職が多くて、自分のやりたいことが学べる食物科学専攻に魅力を感じ、受験することに決めました。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

5月に部活動を引退した後も、文化祭の準備があったので、定期テストの勉強、提出物を仕上げることで精一杯でした。それでも、授業はきちんと聞き、時間があるときに1、2年の復習をできるようにしていました。なかでも、英文法が曖昧だったので、1年のときに使っていた問題集を1周解き直しました。

〔夏休み〕

夏休みはひたすら基礎固めをしました。高校で使っている問題集を何冊も解きましたが、化学と生物は、教科書を1周読んでからやればよかったと後悔しています。

また、センター試験の過去問を1度解いてみて、自分の実力はどのくらいか、目標までどのくらい足りないのかを知りました。この時期は長時間勉強する習慣がついていなかったで、長時間勉強するのがしんどかったです。

〔2学期～入試直前〕

2学期は、模試がたびたびあり、勉強時間を確保するのが大変でしたが、毎日全科目に手をのめるようにしました。私は国公立大学が第1志望だったので、理系科目は11月まで記述式の問題を解いていました。そして、12月中旬から、ひたすらセンター試験の過去問を解き、できていない分野をやり直しました。

特に苦手だった国語は、毎日、現代文、古文、漢文の問題を解いて、自分に合った解き方を定着させました。

同志社女子大学の過去問は2学期に2、3回分解いて、傾向を確かめました。そして、センター試験が終わってからの1週間で、2、3年分の過去問をみっちり解きました。英文法は前年度の問題を2回解き、わからない文法をなくしました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

私はクラブ活動を受験勉強よりも優先していました。行事でも、有志が行うイベントも勉強時間が削られるため、やりが迷いましたが、有志をやることにしました。やりたいことをやっても、空き時間をうまく活用し、勉強との切り換えをきちんとしたので、受験勉強に影響することなく、一生の思い出を作ることができました。

健康面では、夜更かしせずに、睡眠をとることが大切です。夜中に勉強しても、昼間に眠たくて、勉強が頭に入らないのは、非常に効率が悪いです。だから、夜は寝るようにしました。

スマホは、SNSのアプリを必要最低限だけにし、スマホを触らない習慣を作るようにしました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験生という日はいつか必ず終わるので、あまり嫌にならずに頑張ってください。学校行事やクラブ活動は、受験勉強を理由にやり残すことのないように楽しんだほうがいいです。目標をもって、頑張ってください。